

柚香

富士宮市立

柚野中だより

<http://www.fujinomiya-shizuoka.ed.jp/jh-school/13yuno/>

校訓

創 責 友
造 任 愛

1月号

R6年1月5日



柚野中 HPQR コード

小中学校教育目標「柚野を愛し、柚野に学ぶ」

中学校：「品格を高める」

- 主体的に学び、コミュニケーション力を身に付ける子
- 思いやりの心を持ち、主体的に行動する子
- 健康な身体づくりや正しい生活習慣を主体的につくる子

今月の生活目標

「新たな決意を持ち、夢と希望を持った生活をしよう」

3学期始業式（校長の話より抜粋）

校長 山元 勝久



あけましておめでとうございます。

今日から3学期が始まりますが、まずは、全校生徒の皆さんが、大きな事故や事件に巻き込まれることなく、無事に今日を迎えることが出来たことを喜びたいと思います。

さて、新年を迎えて皆さん1人1人も、「自分もこんなことをがんばってみよう」と改めて気持ちが引き締まった事と思います。そんな皆さんに、この3学期に私が期待することをお話しさせていただきたいと思います。

1年生の皆さんには、今まで以上に自分の行動に責任を持ち、そのうえで、自分のことだけではなく、まわりの人のことも考えて行動できる学年になってほしいと思います。3ヵ月後には「先輩」と呼ばれる立場になります。ぜひ、後輩も含め、自分に関わってくれる全ての人たちのことを考えられる学年になってほしいと思います。

2年生の皆さんには、学年・学級集団としての力を益々充実させると共に、最高学年の3年生になるという意識を少しずつ高めていってほしいと思います。よく、「2年生の3学期は、3年生の0学期」と言われます。以前にお話ししたように、3年生になるための“備え”をしておきましょう。

3年生の皆さんは、柚野中の顔としての最後の学期を迎えます。自分の進路を切り拓くために、最大限の努力を尽くして下さい。目指す先によっては、たいした努力をしていないのに合格できることもあります。逆に、努力しても合格できないこともあります。しかし、たいした努力をしていないのに合格した人は、心から喜ぶことができるでしょうか？努力せずに合格した人に対して、まわりの人は、心から「おめでとう」と言ってくれるでしょうか？

また、努力したけれども合格できなかった人に対して、まわりの人はきっと一緒に悔しがってくれたり、励ましてくれたり、受験までの努力を讃えてくれたりするはずです。高校入試や入社試験に絶対はありませんが、「受験に挑む」という、日本中のほとんどの中学3年生が乗り越えなければならない試練は、「合格か不合格か」が問われるのではなく、「受験を通して、目標に向けて精一杯の努力が“できる人”か“できない人”か」が問われているのです。

精一杯の努力を尽くして受験に挑むことができた人は、たとえ合格できなかったとしても、その生き方はとても立派で、誇れるものだと思います。そして、その努力は、次の壁を乗り越えるための力に必ず繋がっているのです。ぜひ、毅然とした気持ちを持ち、級友との残された時間を大切にしながら、3学期を精一杯駆け抜けてほしいと思います。